



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月28日

上場会社名 日本航空電子工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6807 URL <https://www.jae.com>
 代表者 (役職名) 社長 (氏名) 小野原 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 青木 和彦 (TEL) 03-3780-2752
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	100,787	△14.6	7,171	△23.3	7,366	△30.5	5,865	△23.8
2019年3月期第2四半期	117,958	△5.3	9,355	△1.4	10,606	25.5	7,698	24.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 4,303百万円(△52.4%) 2019年3月期第2四半期 9,046百万円(29.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	64.50	64.50
2019年3月期第2四半期	84.69	84.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	194,105	134,229	69.1
2019年3月期	186,605	131,712	70.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 134,048百万円 2019年3月期 131,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2020年3月期	—	20.00			
2020年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	203,000	△8.6	14,500	△16.2	14,000	△22.4	10,500	△22.3	115.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. (4) 四半期連結財務諸表及び主な注記(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	92,302,608株	2019年3月期	92,302,608株
2020年3月期2Q	1,363,921株	2019年3月期	1,382,826株
2020年3月期2Q	90,931,593株	2019年3月期2Q	90,906,805株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2019年10月28日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。なお、四半期決算説明会で使用する説明資料につきましては、同日、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P 6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P 7
(会計方針の変更)	P 7
(会計上の見積りの変更)	P 7
(セグメント情報等)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、通商問題をめぐる不確実性と地政学的リスクの高まりから減速感が増しました。米国経済は通商問題の影響により製造業の景況感が低下し、中国経済では内需の低迷に加え、輸出の減速が続きました。わが国経済においても個人消費は堅調に推移したものの、輸出の伸び悩みから足踏み感が継続しました。

当社グループの関連するエレクトロニクス市場においては、携帯機器市場の成熟化に加え、自動車市場も世界的な販売台数の減少を背景に需要が低迷しました。また、産業機器市場も中国における設備投資抑制による停滞が継続するなど、総じて厳しい事業環境下で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、主力のコネクタ事業を中心に、積極的なグローバルマーケティングと新製品開発活動のスピードアップによる受注・売上の拡大を図るとともに、内製化の更なる強化によるコストダウン、設備効率化及び諸費用抑制など経営全般にわたる効率化を推進し業績向上に努めました。しかしながら各市場で需要減少の影響を受けたことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,007億87百万円（前年同期比85%）、利益面においては、営業利益71億71百万円（前年同期比77%）、経常利益73億66百万円（前年同期比69%）、親会社株主に帰属する四半期純利益58億65百万円（前年同期比76%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権や有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ75億円増加の1,941億5百万円となりました。

負債は、約定返済による借入金の減少がありましたが、仕入債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ49億83百万円増加の598億76百万円となりました。

純資産は、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ25億17百万円増加の1,342億29百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産の増加、及び法人税等の支払いによるマイナス要因はあったものの、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上や仕入債務の増加などから、158億63百万円のプラス（前年同期は149億15百万円のプラス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新製品生産用設備を中心とする有形固定資産取得による支出などから、121億68百万円のマイナス（前年同期は113億2百万円のマイナス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の約定返済や配当金の支払いなどから、38億56百万円のマイナス（前年同期は35億71百万円のマイナス）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ7億48百万円減少の464億43百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び現時点における今後の市場動向を踏まえ、2019年4月24日に公表いたしました予想値を下記のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	215,000	18,500	18,000	13,500	148.48
今回修正予想 (B)	203,000	14,500	14,000	10,500	115.47
増減額 (B-A)	△12,000	△4,000	△4,000	△3,000	
増減率 (%)	△5.6	△21.6	△22.2	△22.2	
(ご参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	222,140	17,302	18,041	13,508	148.58

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,192	46,443
受取手形及び売掛金	35,685	39,314
たな卸資産	18,012	19,842
その他	7,103	7,596
貸倒引当金	△80	△63
流動資産合計	107,913	113,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,566	25,346
機械装置及び運搬具（純額）	18,662	20,820
工具、器具及び備品（純額）	8,056	9,826
土地	6,471	6,562
建設仮勘定	6,542	5,254
有形固定資産合計	65,299	67,811
無形固定資産	3,128	2,819
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,607	3,675
その他	6,795	6,805
貸倒引当金	△138	△138
投資その他の資産合計	10,264	10,342
固定資産合計	78,692	80,973
資産合計	186,605	194,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,044	38,127
短期借入金	4,914	3,714
未払法人税等	1,735	2,066
取締役賞与引当金	120	42
その他	10,142	9,872
流動負債合計	47,956	53,823
固定負債		
長期借入金	4,344	3,487
退職給付に係る負債	873	784
その他	1,718	1,782
固定負債合計	6,936	6,053
負債合計	54,893	59,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,523	14,534
利益剰余金	104,873	108,920
自己株式	△1,052	△1,038
株主資本合計	129,034	133,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,236	1,133
為替換算調整勘定	498	△943
退職給付に係る調整累計額	769	753
その他の包括利益累計額合計	2,504	942
新株予約権	172	180
純資産合計	131,712	134,229
負債純資産合計	186,605	194,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	117,958	100,787
売上原価	96,866	82,352
売上総利益	21,092	18,435
販売費及び一般管理費	11,736	11,263
営業利益	9,355	7,171
営業外収益		
受取利息	40	56
受取配当金	87	35
為替差益	1,312	—
受取補償金	—	544
その他	230	71
営業外収益合計	1,671	707
営業外費用		
支払利息	30	31
固定資産除却損	321	102
為替差損	—	332
その他	68	46
営業外費用合計	420	512
経常利益	10,606	7,366
特別利益		
固定資産売却益	—	733
特別利益合計	—	733
税金等調整前四半期純利益	10,606	8,100
法人税、住民税及び事業税	3,001	2,270
法人税等調整額	△93	△35
法人税等合計	2,907	2,235
四半期純利益	7,698	5,865
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,698	5,865

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	7,698	5,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93	△103
為替換算調整勘定	1,477	△1,442
退職給付に係る調整額	△36	△16
その他の包括利益合計	1,347	△1,562
四半期包括利益	9,046	4,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,046	4,303
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,606	8,100
減価償却費	9,346	9,786
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△45	△74
受取利息及び受取配当金	△128	△92
支払利息	30	31
為替差損益(△は益)	△89	60
固定資産除却損	321	102
固定資産売却益	—	△733
売上債権の増減額(△は増加)	△650	△4,273
たな卸資産の増減額(△は増加)	348	△2,156
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,569	7,005
その他	421	△11
小計	18,592	17,743
利息及び配当金の受取額	129	91
利息の支払額	△30	△30
法人税等の支払額	△3,778	△1,973
法人税等の還付額	2	32
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,915	15,863
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,958	△12,626
有形固定資産の売却による収入	8	813
投資有価証券の取得による支出	△2	△1
その他	△350	△353
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,302	△12,168
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,232	△2,057
配当金の支払額	△1,363	△1,818
その他	24	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,571	△3,856
現金及び現金同等物に係る換算差額	573	△587
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	614	△748
現金及び現金同等物の期首残高	39,439	47,192
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,053	46,443

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が221百万円増加し、流動負債の「その他」が11百万円及び固定負債の「その他」が212百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

当社は、退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(15年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を14年に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	106,218	4,305	6,991	443	117,958	—	117,958
セグメント利益(注)1	10,569	344	697	112	11,723	△2,368	9,355

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,368百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高	89,068	3,851	7,506	360	100,787	—	100,787
セグメント利益 又は損失(△)(注)1	8,500	△191	1,020	105	9,435	△2,264	7,171

(注) 1 セグメント損益は、四半期連結損益計算書上の営業損益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,264百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。